

第 28 回 PCV 漏えい試験検討会 議事録

1. 開催日時: 平成 29 年 10 月 19 日(木)13:30~16:20

2. 開催場所: 日本電気協会 B 会議室

3. 参加者 : (順不同, 敬称略)

□出席者: 井口(発電設備技術検査協会), 上園(三菱重工業), 大坂(日立 GE ニュークリア・エナジー), 楠本(九州電力), 清水(関西電力), 新藤(東北電力), 田辺(東京電力 HD), 戸倉(中国電力), 西岡(四国電力), 堀水(原子力安全推進協会), 味森(東芝エネルギーシステムズ) (計 11 名)

□代理出席者: 志和屋(関西電力, 田中代理), 大口(電源開発, 梅岡代理), 羽鳥(日本原子力研究開発機構, 小林代理), 杉野(中部電力, 斉藤代理), 長谷川(日本原子力発電, 首藤代理), 尾山(北海道電力, 林代理) (計 6 名)

□欠席者: 座主(北陸電力), (計 1 名)

□事務局: 飯田, 大村(日本電気協会) (計 2 名)

4. 配付資料

資料 28-1 委員名簿

資料 28-2 第 27 回 PCV 漏えい試験検討会 議事録(案)

資料 28-3 JEAC4203「原子炉格納容器の漏えい率試験規程」

5. 議事

5.1 定足数等の確認

事務局から代理出席者の紹介があり主査代行の承認を得た。出席委員は代理出席者を含めて 17 名で, 議案決議に必要な委員数「委員総数の 3 分の 2 以上の出席(12 名以上)」を満足することを確認した。また, 事務局から配付資料の確認があった。

5.2 前回議事録の確認

事務局から資料 28-2 に基づき, 前回議事録(案)を紹介し, 特に異議はなかった。

なお, 事務局から, JEAC4203 の公衆審査意見への回答は 10 月 3 日(火)開催の第 64 回原子力規格委員会で承認され, 同規格は発刊準備となった旨報告があった。

5.3 JEAC4203「原子炉格納容器の漏えい率試験規程」のチェック

各委員より「規格作成手引き」に基づく版下のチェック結果を報告し, 気づき点について対応を協議し, すべて編集上の修正として進めることとした。なお, 次の事項については, 持ち帰り確認することとした。

○確認事項

・P12:3.1.2.1:記号について確認する。

・P16:表 3.1.1 注③:「よごれ」の記載について確認する。

・P21:図 3.1.6:印刷時の文字の重なりについて確認する。

・P28:表 3.2.2:精度のうち, 0.05% of rdg の「of」の可否を確認する。

・P53, P54:表 4.4.2, 表 4.4.3:圧力指示量か圧力指示値か確認する。

・P 解-13:式を確認する。エビデンスは修正する。

- ・P 解-21, P 解-29, P 解-40:「線膨脹係数」の記載について確認する。
- ・P 解-25: 解説図 3.1-5.1: 印刷時の文字の重なりを確認する。
- ・P 解-38, P 解-42, P 解-44: 単位を確認する。

5.4 今後のチェック作業について

- ・修正して, 印刷版を作成する。次回は印刷版が出来た段階で確認する。
- ・根拠集のチェックを確認いただきたい。本文は見なくて良い。

5.5 次回検討会

(1) 初校版作成について

- ・印刷版を受け取ってから, 1 週間程度で製本版が完成する。
→27 日までに事務局にいただければ, 31 日までに印刷を依頼し, 6 日~7 日には出来上がる。

(2) 次回検討会: 12 月 5 日(火) 13:30~

- ・幹事会で製本版を確認後, 検討会を開く。
- ・12 月 5 日(火)に初校版を確認いただければ, 1 月くらいには発刊できる。
- ・12 月 5 日(火)には, 次回に向けて何かするか。考えた方が良くも知れない。
- ・製本版を 5~6 部程度は要求できるかと考える。郵送か, 電気協会で保管か, 指示をお願いしたい。

以上